

2020年  
4月号  
創刊号

# 圧入 ジャーナル



## Lineup

### ▶活動報告

——「圧入工法技術講習会・現場見学会」  
函館会場 他

### ▶会員企業様紹介

——稲森クレーン建設株式会社  
——有限会社瑞穂重機

### ▶連載 栄えある第4回表彰

——現場部門賞、貢献賞

### ▶業界ニュース

### ▶Information

現場名：湯の川総合流域防災工事（補正明許）外  
施工者：(株)技研施工、(株)第一基礎

## 「圧入工法技術講習会・現場見学会」 函館会場

2020年1月16日に圧入工法技術講習会とコンビジャイロ工法の現場見学会を開催しました。

コンビジャイロ工法は、ハット形鋼矢板900と鋼管杭を組み合わせることで、止水性の高い高剛性の壁体を短期間に構築できる技術であり、壁高や地盤に応じてハット形鋼矢板の型式・長さ、鋼管杭の杭式・杭長杭間隔を設定することで、機能的かつ経済的な壁体を構築できます。また、水上や狭隘地、上部障害など制約のある現場でも、多くの問題点を解決できる画期的な工法です。住宅地と隣接している同現場では、低振動・低騒音のサイレントパイラーが評価され、狭隘な現場条件でも仮設工事がほとんど不要な「GRBシステム」も採用の決め手となりました。高い剛性の壁体を構築するために、コンビジャイロ工法が採用されました。

講習会に際しては、北海道渡島総合振興局函館建設管理部、(一社)北海道建設業協会、(一社)函館建設業協会、(一社)北海道測量設計業協会、函館測量設計業協会、(一社)建設コンサルタント協会北海道支部から後援をいただき、また、同工法の採用が北海道初ということもあって、(株)産業新聞社、(株)北海道建設新聞社、(株)北海道通信社から取材を受ける等、注目を集めました。当日の参加者は55名で、官公庁6名、協会・団体2名、建設コンサルタント17名、総合建設会社26名、専門業者1名、そ



の他3名の方が参加されました。参加者からは「本当にコンパクトで静か」「住宅や認定こども園の敷地と隣接しており、同工法が採用された理由がわかる」等の感想が寄せられ、多くの参加者に圧入工法の優位性を認識いただけたと感じています。

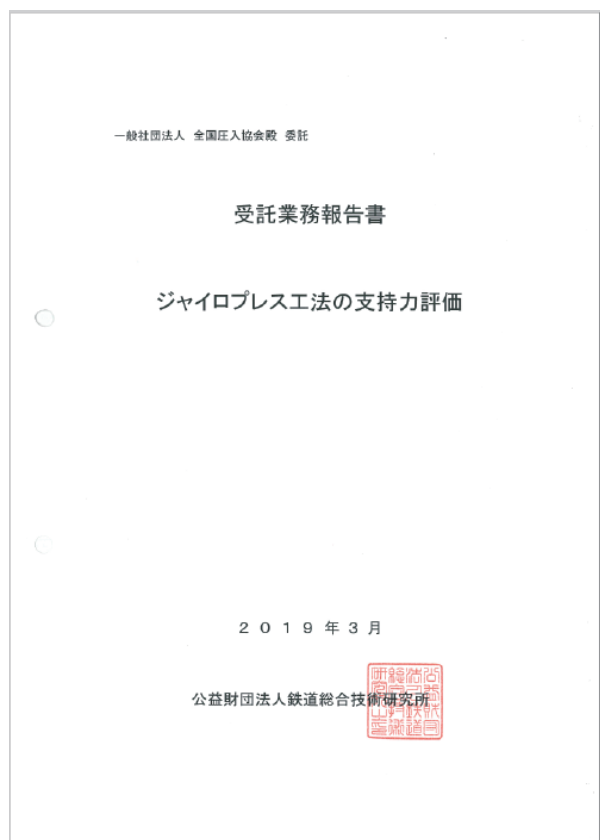
協会では、年度ごとに計画をたて、国や都道府県に対する活動を行っていますが、2019年度は中国地方、九州地方の国交省・自治体等を工法普及活動の重点地域とし、普及活動を行いました。8月には中国地方整備局から依頼を受けて技術講習会を開催しました。このような地道な活動が圧入工法の普及を支えています。2019年度は協会主催で「圧入工法技術講習会・現場見学会」を計12回開催し、計526名の方が参加されました。2020年度も引き続き普及活動を行っていきますので、ご協力をお願いします。



## 鉄道構造物基礎でジャイロプレス工法の設計ができる環境を目指します

鉄道基礎標準では、過去の鉄道構造物基礎としての施工実績が豊富な杭工法を対象として、杭の地盤抵抗特性（鉛直支持力や鉛直ばね定数）をN値等の地盤調査結果から推定するモデル化方法（鉛直地盤抵抗モデル）が示されていますが、ジャイロプレス工法はその適用対象外となっており、特殊な施工方法の杭基礎として扱われてきました。そこで当協会は、ジャイロプレス工法で施工された杭の静的鉛直載荷試験データを収集したものをもとに、2019年3月に（公財）鉄道総合技術研究所より、鉄道基礎標準に基づくジャイロプレス工法の支持力について評価を受けました。評価では、一般工法

に準じた統計処理および信頼性解析に基づく検討、鉛直地盤抵抗のモデル化が行われました。これにより、適用対象外となっていたジャイロプレス工法が鉄道構造物基礎で設計される環境が整いました。また、当協会の技術委員である木村育正氏、鈴木直樹氏が、同情報について（公財）鉄道総合技術研究所所属の方と連名で、総合土木研究所発行の「月刊 基礎工（総合土木研究所発行）」2019年8月号「特集／基礎の載荷試験」に「鉄道構造物に用いるジャイロプレス工法の設計鉛直支持力」という題で報告文を掲載し、業界へ発信をしました。



## 「2020年度会員総会（定時社員総会）」について

「2020年度の会員総会（定時社員総会）」を、来る6月10日（水）に開催する予定です。会員総会では、前年度の事業報告・今年度の事業計画等の議案審議を行う予定です。しかしなが

ら、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、会員の皆様の安全を第一に考え内容の大幅な縮小を検討しています。詳細については決定次第、別途ご連絡いたします。

## Member introduction

## 会員紹介



### 稲森クレーン建設株式会社

(鹿児島県鹿児島市)

#### ■キャッチフレーズ

～安全と信頼を最優先に～をモットーに確かな技術力でお客様に満足頂ける品質とサービスを提供いたします。

#### ■創業または設立年月日

昭和 49 年 4 月 13 日

#### ■最近のトピック、またはPR

社員全員で鹿児島における圧入業界のトップランナーを目指しがんでいます。

#### ■自社のご自慢やお国自慢

<独特のソウルフード>

黒牛黒豚それに焼酎、これらは鹿児島のソウルフードとして特に有名ですが、日常的に家庭でよく食されているのは実は生の新鮮な鶏をにんにくや生姜のすりおろしの醤油やポン酢につけて食べる【鶏刺し】ではないかと思えます。生なんて信じられないという方もいらっしゃると思いますが、南九州（宮崎・鹿児島）では江戸時代からの食文化なのです。県の基準やマイスター制度で安心して生で食べられます。多くの人達の努力のおかげで食中毒の心配もなくスーパーや飲食店でどこでも買えます。皆様、鹿児島に寄られたら黒牛黒豚は勿論ですが一度食べたなら病みつき絶品の鳥刺しをぜひともお召し上がりください。とても美味しく焼酎にも合いますよ。

(執筆: 稲森 浩二)



稲森 勝次 社長



### MIZUHO 有限会社 瑞穂重機

(新潟県新潟市)

#### ■キャッチフレーズ

基礎づくりは安心の基盤づくり

#### ■創業または設立年月日

昭和 48 年 3 月 24 日

#### ■自社のご自慢やお国自慢

当社は 3 月で創業 48 年を迎えました。ホームページ (<http://www.mizuho-group.co.jp>) とロゴを新しくしましたのでご覧ください。

昭和 61 年に圧入工法を導入して以来、35 年間圧入工事に従事しています。現在は、(株)技研製作所と圧入工法におけるフランチャイズ型の業務提携を行う GM 1 認証企業です。ジャイロパイラー SP12、F301 を各 2 台、F111 2 台、ECO600 1 台、ECO 400 S 2 台をはじめ、豊富な圧入機を取り揃えています。当社の自慢は勤続 20 年以上のベテランをはじめとする現場経験豊富な社員が環境や経済性を配慮して工事を行っていることです。

(執筆: 小林 峰幸)



小林幸雄 社長



連載②

# 栄えある第4回表彰をご紹介

現場部門賞

株式会社 藤井組

## 佐野川耐震対策工事

当現場は、既設護岸の耐震補強工事を目的とした2台同時施工による工事です。現場は民家が近接しており、またストックヤードが離れているため機材のスペースが確保できないという課題がありました。

そこでノンステージング工法を選定し、同工法の特徴を生かして圧入済みの鋼管矢板の上に架台を設置し半自動溶接機等の機材を置き、移動時にはクランプクレーンで吊るなど施工手順に工夫を凝らしました。

非常に狭い現場で、近隣からの苦情等も懸念されましたが、事故や工程の遅延も無く終えることができました。

工夫を凝らした現場施工

株式会社 技研施工

# 広域河川堀川改修工事

現場部門賞

当現場はジャイロプレス工法により河川護岸の改修を目的とした工事です。これまでの改修工事では、河川満潮位より上で鋼管杭を圧入し、仮締切後に護岸基礎レベルにて鋼管杭を切断していました。そこで、護岸基礎レベルに直接圧入できるエコリアクションベースを提案し、合理性が認められ採用に至りました。杭の精度は賛助会員であるシーアイテック(株)のインプラントナビを採用しました。

完成杭の精度管理とともに圧入管理データを基にした最適数値の追求を図りました。今後も、新技術・新工法の開発・実証を重ね、圧入工法の普及、拡大に邁進します。



新技術で河川護岸の改修に活躍

# 株式会社 矢後自動車整備工場

貢献賞



当社は「お客様の機械を止めない、困らせない」という経営方針のもと、圧入機の指定工場として“矢後メンテナンスシステム”をはじめ予防保全の提案に力を注いでいます。例えばオーバーホールは自動車レベルの塗装仕上げなどベストを基準に提案しています。また油圧ポンプや発電機など圧入機の保全に必要な機器・装置類に積極的に投資をし、施工現場をバックアップしています。

当社の応募が貢献賞という特別な形で表彰を受け、大変光栄です。技術のより一層のレベルアップを目指し、お客様に満足いただけるよう努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

会社の前で笑顔で写真に納まる社員の皆さん

# 業界ニュース

2019年11月～2020年3月

記事提供：日刊建設通信新聞社

## 災害復旧入契指針 改定へ国交省

国土交通省は、自治体も含めた災害対応のさらなる円滑化・迅速化に向けて、『災害復旧における入札契約方式の適用ガイドライン』を改定する。近年の災害対応の事例を踏まえ、見積もり活用や工事の一時停止など積算や施工段階の内容を追加する。公共工事品質確保促進法(品確法)の改正により調査等の業務が法律の対象として明確に位置づけられたことを受け、災害復旧工事に関する業務についても対応を明記する方針だ。

## 能力評価に応じた賃金支払い実現へ

国土交通省は、建設技能者の能力評価に対応した賃金の支払いを実現するため、能力評価実施団体に対して職種ごとの処遇目標を2019年度内に設定するよう要請した。技能レベルごとの年収を明確化させることで、若い世代にキャリアパスを示し、新規入職の促進や離職の防止に役立てる狙いだ。明確化した処遇に基づいて元請に必要額を請求することにより、レベルに応じた賃金支払いの原資となる適正な請負価格の確保にもつなげる。

建設キャリアアップシステムを活用した建設技能者の能力評価制度は、各専門工事業団体が務める能力評価実施団体が策定する能力評価基準を基に4段階のレベル分けを行うもの。建設キャリアアップシステムに蓄積された就業日数や保有資格などの経験・技能から客観的に評価される。

## 技術提案・交渉方式 / 適用拡大へ

国土交通省は1月15日、プロジェクトの上流段階から施工者のノウハウを取り入れる「技術提案・交渉方式」のさらなる適用拡大に向け、運用ガイドラインを改正した。設計業務、技術協力業務の期間の長期化など実際に事業を進める上で顕在化した課題に対応し、技術協力期間

の設定例などを新たに明示した。事業のより上流段階から技術提案・交渉方式の適用が検討されるよう、総合評価落札方式との選定フローも盛り込んでいる。

## 災復・復興に1兆円 / 国交省の補正予算

国土交通省は1月31日、30日に成立した2019年度補正予算の配分額を公表した。対象事業費は1兆3044億円。19年12月に閣議決定された新たな経済対策に基づき、19年の台風19号など災害からの復旧・復興と安全・安心の確保に向けた事業に1兆0187億円を充てた。公共事業の発注を平準化する「ゼロ国債」は977億円を設定した。

直轄5270億円、補助7774億円の内訳。このうちゼロ国債は、直轄862億円、補助115億円となっている。

事業別の配分額は、治水が2705億円(うちゼロ国債230億円)、道路整備が2203億円(433億円)、港湾が424億円(125億円)など。社会資本整備総合交付金に1240億円、防災・安全交付金には4353億円を配分した。

直轄は、鶴川河川改修や荒川第2・3調節池整備、一般国道16号貝渕地区電線共同溝、山陰自動車道(出雲～仁摩)が主な配分箇所となっている。

## 新労務単価8年連続増、全国平均2.5%アップ

国土交通省は3月から適用する「公共工事設計労務単価」を公表した。全国の全職種平均(単純平均)の伸び率は2.5%となり、法定福利費相当額加算などによる大幅な引き上げとなった2013年度から8年連続のアップ。全職種の平均金額(加重平均)は2万0214円で、労務単価の公表を開始した1997年度以降で最高値となった。2019年度補正予算などに計上された公共事業の円滑な執行を目的に、通常は4月に行う労務単価改定の時期を今回も前倒した。



# Information

## 新会員紹介

(2020年1月1日～3月31日入会、入会順・会員別)

### 正会員

高城工業株式会社様  
鈴建工業株式会社様  
湯島興業株式会社様

愛知県大府市  
神奈川県厚木市  
東京都江戸川区

### 協賛会員

井上鉄工株式会社様  
西澤重工株式会社様  
メンテナンスファクトリー株式会社様  
トーヨースギウエ株式会社様  
大阪特殊車輛株式会社様  
北国テクノ株式会社様  
株式会社カマタ工機様  
北国建機販売株式会社様  
中央自動車株式会社様  
株式会社高野産業様  
日通商事株式会社様

岡山県岡山市  
滋賀県東近江市  
北海道北広島市  
香川県高松市  
大阪府東大阪市  
富山県射水市  
青森県青森市  
石川県白山市  
徳島県板野郡  
北海道北斗市  
東京都港区

### 【会員数の現況】(2020年3月31日現在)

正会員：205社、協賛会員：44社、賛助会員：4社5団体  
特別会員：8名